

兵庫の3建築 国文化財に

唐破風の玄関が格調高い外観を見せる鷹津家住宅。姫路市御国野町深志野（兵庫県教委提供）



姫路の鷹津家住宅など

文化審議会は16日、国の登録有形文化財（建築物）に35都道府県の220件を加えるよう、萩生田光一文部科学相に答申した。兵庫県内では、姫路市余部区下余部の旧八木家住宅（5棟）と、同市御国野町深志野の鷹津家住宅（同）、宍粟市山崎町山崎の中門前屋主屋が選ばれた。

県教育委員会によると、旧八木家住宅は、当地が四国・丸亀藩領だった江戸末期に大庄屋だった八木家が建てた。主屋と長屋門など5棟を配した大型の農家住宅で、地域のシンボリック的存在。現在は認定こども園の園舎として使われている。鷹津家住宅は1894

（明治27）年ごろの築。江戸後期から医師を務める旧家で、豪華な唐破風の玄関は個人宅では珍しく、上質の意匠が特徴となっている。中門前屋は近世から続く商家で、主屋は江戸後期の築とされる。町家の外観を残し、周囲の酒蔵と共に景観を形成。現在は古民家ホテルとして活用されている。宍粟市内での登録有形文化財は初となる。

◇（古根川淳也）
全国では大阪市の「大阪府庁舎本館」や名古屋市の「道徳公園クジラ池噴水」、北海道根室市と国後島をつないだ通信用海底ケーブルの陸上施設「根室国後間海底電信線陸揚施設」、建築家吉田五十八の代表作の一つで岸信介元首相が晩年を過ごした静岡県御殿場市の「旧岸邸」も含まれた。

名前【 】

①文化審議会は、国の登録有形文化財（建築物）に何件を加えるよう、萩生田文部科学相に答申しましたか。

②このうち、兵庫県内で選ばれた3つの建築物とそれぞれの特徴を書きましょう。

よべ

姫路市余部区下余部の

姫路市御国野町深志野の

宍粟市山崎町山崎の

③兵庫県の登録有形文化財（建築物）を調べてみましょう。